

音 楽

(器楽合奏)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 751	A 4 変型 106	令和 2 年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 752	A 4 変型 106	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 日本文化・異文化理解とコミュニケーション能力を育成するため、日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせる。
- (2) 豊かな教養を涵養する教育を展開するため、基礎・基本を確実に定着させるとともに、発展的な学習を積極的に行う。
- (3) 国際色豊かな学習環境を整備するとともに、ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

我が国や郷土の伝統音楽の楽器の一つである三味線に慣れ親しみ、我が国や郷土の伝統音楽についての学習を深める。また、芸術鑑賞会や、地域の人材の活用を通して伝統芸能に親しむことにより、日本の伝統文化理解を深めていく。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽についての学習を深めるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立白鷗高等学校附属中学校 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 世界的視野をもち、国際社会に貢献しようとする志と使命感をもつ生徒を育成するため、大学や国際機関の教育力を活用し、国際社会における在り方や生き方を主体的に考えさせる。
- (2) 自然科学をはじめ各教科で確かな学力を育む教養教育を展開するために、基礎学力を確実に定着させるとともに、生徒一人一人の習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を行う。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

幅広い活動を通して、感性を豊かにし、音楽活動の基礎的能力を伸ばし豊かな情操を養う。教材は発達段階にふさわしいものを精選し、歌唱、器楽、鑑賞をバランスよく行う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 我が国や郷土の伝統音楽を積極的に取り上げた学習を推進し、国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育むために、日本文化への理解を深める内容に関わる和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 我が国や郷土の伝統音楽を積極的に取り上げた学習を推進し、国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育むために、日本文化への理解を深める内容に関わる我が国の音楽についての楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立小石川中等教育学校(前期課程) 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 豊かな心と世界的視野をもつ生徒を育成するため、全ての知的活動の基盤である国語力を育成し、我が国の社会、自然、文化などへの理解を深めさせ、日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 広く深い教養、知性を涵養^{かん}する教育を展開するため、基礎・基本を徹底して定着させ、発展的な学習を積極的に展開して応用力を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

中学校では、豊かな情操を養うため、幅広い音楽活動を通して、音楽の創造的な表現力と鑑賞能力の基礎を身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、日本人としてのアイデンティティを育むために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、日本人としてのアイデンティティを育むために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立両国高等学校附属中学校 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会を担う生徒を育成するため、論理的な思考力・表現力を育成し、日本の伝統や文化を理解するとともに、他国の文化を理解し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 高い知性を涵養する教育を展開するため、教科教育を充実させ、確かな学力を身に付けさせるとともに、個性の伸長や創造力の育成につながる発展的な学習を積極的に行う。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、我が国及び世界の古今にわたる様々な音楽に対する興味・関心を養うとともに、基礎的な音楽表現の技能を身に付ける。
- (2) 音楽を楽しむことによって豊かな情操を養い、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校整備に関する検討委員会報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校教育課程第1章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育むために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育むために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立桜修館中等教育学校(前期課程) 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒を育成するため、外国語教育を充実させ、英語を中心としたコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、日本の伝統や文化を理解し、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度を養う。
- (2) 確かな基礎学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的な思考の根幹となる日本語の基礎・基本を定着させるとともに、思考力、表現力を引き出す内容を積極的に取り入れた学習を行う。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

身近な日本及び世界の楽曲を通して音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	立川地区中高一貫6年制学校 (国際中等教育学校)基本計画 検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てるために必要な、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てるために必要な、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校(前期課程) 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会で活躍するリーダーを目指す生徒を育成するため、科学的・論理的に考える力や表現する力を育成し、自国の文化、社会の理解を深めるとともに、他国との相互理解に必要な資質を培う。
- (2) 豊かな知性と感性を育む教養教育を展開するため、系統的、発展的な指導を行い、教科学習を充実させるとともに、地域の教育資源を活用した体験的・発展的な学習を行う。また、大学や研究所、企業等と連携し、科学的な見方や考え方を育成する学習を行う。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

音楽を愛好する心情を育てるとともに豊かな感性、自己表現力、協調性そしてコミュニケーション能力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立武蔵高等学校附属中学校 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い知性と深い教養を育む教養教育を展開するため、大学、企業、文化施設及び地域での学習や自然に触れる体験的な学習を積極的に取り入れる。
教育活動を通じて「探究心」を育て、特色ある教育の一層の充実を図る。
- (2) 社会のリーダーとしての能力や資質をもつ生徒を育成するため、様々な文化・芸術・自然等に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高め、奉仕活動を通して社会に貢献する志を培う。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 様々な文化・芸術・自然に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高める。
- (2) 音楽を愛好する心情を育てるとともに、豊かな感性、自己表現力を養う。
- (3) 幅広い音楽活動を通して、基礎的な表現力・鑑賞能力を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立富士高等学校附属中学校 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 確かな学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的思考力を育成し、情報化社会のリーダーとしての資質を養うため、教育の情報化を積極的に遂行する。
- (2) 豊かな人間性とリーダーとしての資質をもつ生徒の育成とともに、国際的視野をもつ生徒を育成するため、我が国の文化、他国の文化に触れる機会を多く取り入れ、国際的視野を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 我が国の歴史・文化・社会への理解を深める。
- (2) 他国の異なる文化を理解し、尊重する態度を育てる。
- (3) 音楽の基礎的な能力を伸ばすとともに、豊かな情操を養い、音楽を生涯にわたり愛好する気持ちを育てる。
- (4) 生徒の発達段階に応じた表現活動を通して、音や音楽への関心を高め、表現する喜びを得る。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国の文化に触れる機会を多く取り入れるため、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国の文化に触れる機会を多く取り入れるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立大泉高等学校附属中学校 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 精神の豊かさと確かな学力を追求し、国際感覚を育てる。そのため、地域への理解を深めるとともに、世界へ広がる視点のもとに国際感覚を涵養し、異文化理解のための指導を行う。
- (2) 質の高い教育活動を行うため、専門的な学問領域に触れさせ、知的好奇心を鼓舞し、科学的探究心溢れる教科指導を行い、大学や企業との連携・接続により最先端の学問・芸術、社会や経済の動向に触れさせる。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 音楽活動の体験を通して、音や音楽への興味・関心を養い、基礎・基本を定着させると同時に、創造的に表現する能力を身に付けさせる。
- (2) 多摩地域の伝統音楽から世界の作品まで多様な音楽に触れ、幅広く鑑賞する態度・能力を育てる。
- (3) 生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞能力を伸ばす。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるため、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立南多摩中等教育学校(前期課程) 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い見識と幅広い視野を育成する教育を展開するため、論理的な思考の根幹を担う日本語の基礎・基本を重視し定着・伸長させ、観察、実験、実習、見学等の体験的な学習を積極的に取り入れる。
- (2) 高い倫理観、豊かな人間性をもった生徒を育成するため、ボランティア体験、奉仕体験活動を有機的に編成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 幅広い音楽活動を通して基礎的な表現力や鑑賞力などの音楽能力を伸ばす。
- (2) 日本及び世界の様々な音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てる。
- (3) 創造的な自己表現力を高めるとともに、音楽活動を通して、コミュニケーション能力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立三鷹中等教育学校(前期課程) 音楽(器楽合奏)

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	12	23	12	4	4	65	49
教芸	15	13	15	10	6	6	65	29
平均値	12.5	12.5	19.0	11.0	5.0	5.0	65.0	39.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

